

FUKUI SPACE RESKILLING PROGRAM 2026

福井の「いつもの現場」から 宇宙ビジネスが生まれる。

ふくい宇宙シーズ／ニーズ共有による新しい地域産業GX人材育成PF
2026年度リスキリングプログラム

国立大学法人 福井大学

文部科学省 令和7年度補正予算「産学連携リ・スキリング・エコシステム構築事業
メニュー①地方創生」採択事業

AGENDA

本日の内容

- 01 福井の宇宙産業について
- 02 宇宙ビジネスの3類型と、衛星データの使い道
- 03 プログラムの目的と3つの特徴
- 04 3つの講座の内容・定員・受講料
- 05 受講のしかたと、お申込みの方法

BACKGROUND

福井県の宇宙産業のこれまで

2015

年から、産学官連携による取組を推進

「福井県民衛星プロジェクト」を契機に、ものづくり技術を活かした小型衛星製造や衛星データ活用など、宇宙産業の拠点化が進みつつあります。

宇宙はもはや一部の大企業だけのものではなく、繊維・化学・眼鏡をはじめとする本県の地場産業が持つ固有技術を活かして参入できる、身近な成長分野となっています。

DIALOGUE

福井のものづくりは、すでに宇宙で通用する。

産学の三氏による対談「福井のものづくり×リスキリングが広げる地域産業の可能性」より

01 TECHNOLOGY

繊維や眼鏡、機械の技術と品質は、宇宙でも通用する。

宇宙では洗濯ができないため抗菌素材が有用になる。福井の繊維技術を生かせば、そうした分野にすぐに参入できる。

02 PEOPLE

担い手は、明らかに不足している。

産業が拡大する一方で経験者は限られる。個別の技術だけでなく、コスト管理や量産化、事業の持続性といった経営の視点も欠かせない。

03 RESKILLING

単なる講義ではなく、自社の将来像を描く場。

技術やデータを生かす対話の場であり、経営の羅針盤になる。宇宙への挑戦は、地域全体の技術力を引き上げる。

「私も技術者と共に研究室に入り、現場と一体となって宇宙を肌で感じたからこそ、事業化できたように思います。」— 県民衛星「すいせん」を開発した企業の実感です。
まず一步、同じ場に入ってみませんか。

「宇宙ビジネス？ 自社には関係ない」

その認識を本プログラムで少しでも払拭できればと考えています。

「宇宙参入」だけが目的ではありません。宇宙で培われたデータ解析手法や技術発想を、**自社の現場課題に落とし込む**プログラムです。

宇宙ビジネスの誤解

× 一部の大手企業やIT企業だけの話

× 遠い未来のロケット開発をするもの

× 夢のある宇宙探査が目的

本プログラムのアプローチ

01 繊維・眼鏡・機械など、地場産業の発展に活かす

└ 地場技術を「宇宙品質・極限環境」の視点で再定義し、他社が真似できない差別化商品へ

02 Pythonによる自動化とデータ活用（現場DX）を実現する

└ 未経験から学び、外注に頼らない製品検査の自動化・データ解析を自社で

03 技術経営（MOT）による『稼ぐ力』と新事業創出への意識改革

└ 自社の要素技術・製造ノウハウを、競合が模倣できない「稼ぐ力」に変える

「知る」から「創る」へ。経営・現場・企画の三方向から、組織の「稼ぐ力」を底上げします。

THREE ROUTES

宇宙ビジネスの3類型

01

衛星そのものをつくる

小型衛星や部材の製造に、自社の加工・素材技術で参入する。

02

衛星データを使う

衛星から得られるデータを活用して、新しい技術やサービスを生む。

03

得た技術を他分野へ

衛星をつくる過程で得た画像解析や生産技術を、他分野に活かす。

宇宙を看板に掲げた新しいステージで、自社の技術に次の使い道を見つける。
それが本プログラムの出発点です。

すでにある技術の、使いどころ

自社にある技術	宇宙というステージでの使いどころ	対応する講座
経営判断・事業開発	衛星データと市場動向を読み、 参入構想と持続的な経営戦略を 立てる	講座①
画像検査・生産技術	衛星画像の解析技術を製品検査 の自動化やデータ利活用に転用 する	講座②
繊維・金属等加工技術	宇宙産業のニーズに合わせて再 定義し、新素材・新事業として 参入する	講座③

SATELLITE DATA

「衛星データは、何に使えるのか」

「衛星データと言われても、自社のビジネスでどう使えばいいかわからない」「ドローン映像と何が違うのか」— 説明会でいちばん多くいただく疑問です。

ドローン

特定現場のピンポイント撮影が強み。

人工衛星

県全域などの広域を定点観測できる。両者を組み合わせると、これまでにない把握ができる。

すでに見えている使い道

山火事・水害リスクの把握

農作物の生育モニタリング

インフラ点検

いずれも、これまで膨大なコストがかかっていた領域です。

一石二鳥の「両輪」設計

成長の旗印

宇宙ビジネスへの参入・新事業創出

└ 地場技術の宇宙品質化や
衛星データ活用で、新たな収益の柱を築く

+

足元の成果

本業の現場DX・生産性向上

└ Python・画像解析による自動化、
持続可能な経営戦略・MOTの習得

なぜ「宇宙」を題材にするのか

宇宙は、自社の技術と発想を広げる「教材」

1 画像解析・AI技術 → 現場の検品自動化

└ 衛星画像処理の技術を外観検査・不良品判定に応用。
「内製化判断力」が身につく

2 極限環境の技術水準 → 自社技術の高付加価値化

└ 繊維や精密加工など地場の固有技術を、
厳しい宇宙の要求水準で磨き直す

3 広域データの利活用 → 現地確認コストの削減

└ 衛星・位置情報を建設・防災・農地管理等の
見回り削減や新サービス開発へ

宇宙を「目的」とすると同時に、本業を強くする「手段」として活用します。

PURPOSE / PROGRAM DESIGN

本プログラムの目的と3つの特徴

PURPOSE

宇宙・データ・AIの知識と技術を県内企業・自治体の人材に届け、地場産業の高度化と新事業創出、地域課題の解決を担う人材を育成する。

POINT 01

組織の各層に対応した 3講座構成

経営判断・現場技術・事業企画
の三方向から、組織全体の変革
を支えます。

POINT 02

働きながら学べる 実践重視の設計

対面のほかライブ配信またはオ
ンデマンド配信を併用。最終回
は自社構想を持ち寄るグループ
討論です。

POINT 03

修得したスキルを 可視化するデジタルバッジ

国際標準規格に基づく電子証明
書を発行し、社内外に成果を示
せます。

3つの講座から選ぶ

講座	対象	回数・定員	受講料	申込期限
① 宇宙ビジネス参入・経営戦略講座	経営層、次世代リーダー	全6回・40名	50,000円	10月16日（金）
② Python×画像解析・データ活用実践講座	生産技術、品質管理、DX・IT推進担当者	全16回・15名	35,000円	9月25日（金）
③ 宇宙シーズ活用・新事業企画講座	新規事業開発、研究・技術開発、商品企画担当者	全7回・20名	30,000円	10月16日（金）

※ 期限はいずれも令和8年。募集は先着順です。定員に達しない場合は期限を延長することがあります。

HOW YOU LEARN

働きながら学び、成果を持ち帰る

3つの受け方

対面のほか、ライブ配信またはオンデマンド配信を併用します。

最終回は討論と発表

自社の参入構想や事業企画プランを持ち寄り、グループ討論・発表を行います。

専門家の助言

担当講師や金融機関等から、実現に向けた具体的な助言を得られます。

※ 会場は福井大学文京キャンパス。担当講師の都合等により講座日時が変更になる場合がありますので、ホームページをご確認ください。

お申込みの流れ

STEP 01

ホームページの受講申込 フォームから入力

申込期限までに必要事項をご入力ください。

STEP 02

先着順で受付

定員に達しない場合は期限を延長することがあります。最新情報はホームページをご確認ください。

STEP 03

受講料のお支払い

お支払い方法は、申込受付後にメールにてお知らせします。



講座の詳細・全回の時間割はホームページで

<https://fupo.jp/lp/u-fukui-space/>

受講申込フォームへのリンクもこちらから。

産学官金が情報を共有し、
宇宙とつながる新事業を
一緒に考えてみませんか。

講座①③ 申込期限

10 / 16 (金)

講座② 申込期限

9 / 25 (金)

福井大学研究・地域連携推進部
地域連携推進課 地域創生・連携担当

TEL 0776-27-9760 / rcp@ad.u-fukui.ac.jp



受講申込はこちら